

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28.10.27 PM8:00~9:28)

会場(千歳町自治会館)

テーマ(災害からの安全安心、 少子高齢化の中で住みやすいまちづくり)

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 | 所管 | 対応 | | |
|---|--|--|--------------|----|----|----|
| | | | | 参考 | 報告 | 調査 |
| 1 | 毘沙門区には3つの谷に関わって危ない箇所があるということで、要望を出している。先般、市長、議長には見ていただいた。雨が降ったら現場を見て回っているが、災害が起る時は普通の雨ではない。いつ災害が起るかかわからないので要望しているが考慮してもらえない。なかなかできないと思うが見ていただきたい。 | 3つの川の対策が非常に遅れているという指摘であったと思う。 | 総務文教 産業建設 | | | |
| 2 | 出雲区に堤防ができるが、二つの山が一緒になっている出雲台区には小さなダムしかなく、逃げる場所もないので見ていただきたい。 | | 総務文教 産業建設 | | | |
| 3 | 今年度、小口区の南側に堰堤を造っていただいた。しかし、あと2つの谷がある。以前から要望を出しているが、なかなか聞いてもらえない。予算の面や他にも危険箇所があるのは承知しているが、少しずつでも手を付けていただけたらと思う。 | | 総務文教 産業建設 | | | |
| 4 | 中谷川上流に砂防堰堤がある。大雨が降るとかなりの土砂が溜まる。府民公募型事業で毎回要望を出している。現状では問題ないという回答であった。土砂だけでも浚渫していただきたい。砂防堰堤は、本来、浚渫するものではなく、いっぱいになったら次のものを造るといことになっているそうだが、その考え方が本当によいのかどうか。新しいものを造るとなると予算がかかる。浚渫をすれば、予算は抑えられると思う。 | 中谷川の堰堤を市長に見てもらい、その後、どう対応をされたのか確認した。一町1件ということが行政側(府、市)にあるようで、引き続き水路の整備も進めるよう要望したところ、一つひとつ解決できるような体制づくりをしていくとの回答を得ている。 | 総務文教 産業建設 | | | |
| 5 | 果たして、小口区の避難場所はどこが安全かという、どこも安全とは思えない。自治会、さくら体育館までは遠い。そこまで避難するのは現実的ではない。状況に応じた避難の仕方をアドバイスいただきたい。 | 避難場所は、地域によって違う。逃げたところが危ないということでは絶対ダメなので、一番近くで安全な場所は、自治会の方でもお示しいただく中で、どうしたらよいかということは行政の立会いのもと、地域毎の安全な避難場所、避難経路を考えるのがよい。手助けできることがあれば、議会から執行部の方に申し伝えたいと思う。山裾に位置するこの地域の特性を理解し、災害に対する予算が提案された時は速やかに賢明な判断をしていきたい。緊急避難場所、避難施設等について、京都府を含めて見直し作業が始まっていると思うので、自治会の方でもいざという場合に直ちに行く場所と、長期間滞在を視野に入れなければならない場所を考えていかなければならないと思う。 | 総務文教 | | | |
| 6 | 中区では、ワークショップを何回も実施して、シミュレーションを行った。皆が意見を出し合って、安心安全マップを作成した。それぞれの区で、このようなものを作っていかなければならないと思っている。集合場所として示されているものが、危ないのではないか。避難勧告が出た時に、どこへ行けばよいのかということが、今日の心配点である。避難場所のことは予算に関係なくできるということで、頑張らなければならないと思っているが、このようなものを作っていくとなると、サポーターが必要。専門的な知識のある方などにきていただいたら進みやすい。 | | 総務文教 | | | |

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28.10.27 PM8:00~9:28)

会場(千歳町自治会館)

テーマ(災害からの安全安心、 少子高齢化の中で住みやすいまちづくり)

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 | 所管 | 対応 | | |
|----|---|---|--------------|----|----|-----|
| | | | | 参考 | 報告 | 回調査 |
| 7 | 江島里区も山は低い谷がある。すぐに水が漬くので心配。治山ダムの要望を出しているが予算が通らないので、よろしくお願したい。 | いただいた意見は持ち帰って、各委員会で議論をして執行部に申し伝える。 | 総務文教 産業建設 | | | |
| 8 | そこに住んでいる住民の危機意識と行政の安全基準に相当のズレがあると思っている。住民は、治山、砂防のことを言われても仕組みがわからない。住民は年一回の要望のときしか声を出せない。対象事業ではないと言われたら、先に繋がらない。亀岡市、土木事務所、振興局など行政間の連携をとってほしい。例えば、千歳町から出している要望は、それぞれの機関が合同で危険箇所を年一回は見回りをして、どうなっているのか状況確認していただくようなことができないか。 | | 総務文教 | | | |
| 9 | 一町1件ということが適切なことなのか。一町で5、6件でも必要だということがわかってもらえれば。亀岡市、京都府、地元が継続して危険箇所のパトロールをしていただくようなことが出来たらと思う。(産廃では機動班が出ているが、それが防災に生かせないかという提案だった) | | 総務文教 | | | |
| 10 | 高齢者のための居場所カフェを高齢福祉課の事業に手を挙げて実施したが、民生委員の催しと重なってしまった。個々にやらないで一つでやればよいのではと感じた。活動しやすい体制があればと思う。誘い合い、声の掛け合いが大事である。京都市の事例に鑑みても、初めは公園の一角や空き家を借りて実施したという事例があった。今後、どこの地域でも居場所カフェ的なことは必要になってくる。良かったら地元で引き継いでやりたいという構想はある。幸いにも集しやすい要素は整っているの、あとは人の問題。行政のサポートや呼びかけがあればできると思う。 | | 環境厚生 | | | |
| 11 | 居場所カフェの事業をした同じ課の中に民生の担当もある。(カフェをした)パイロット試験データは色々あると聞いているが、それをどう生かされているのか。 | | 環境厚生 | | | |
| 12 | 千歳町には民生委員が3名おられ、非常に頑張っている。役割から考えると、もう少し人員を増やしてほしい。 | | 環境厚生 | | | |
| 13 | 民生委員が対象としているのは65歳以上。今後、団塊の世代が65歳以上になり、対象者が非常に増えてくる。全部を回るといって、一人暮らしや日中家族がいないところを定期的に回っていかねばならないのではないかと感じる。しかし、訪問するだけではかえって迷惑ではないかとも感じる。 | 私の知っている民生委員も孤独死を発見した。孤独死となると、警察が立ち会って第一発見者の事情聴取等があり、色々大変であると聞く。 | 環境厚生 | | | |

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28.10.27 PM8:00~9:28)

会場(千歳町自治会館)

テーマ(災害からの安全安心、 少子高齢化の中で住みやすいまちづくり)

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 | 所管 | 対応 | | |
|----|--|---|--------------|----|----|-----|
| | | | | 参考 | 報告 | 回調査 |
| 14 | 民生委員は何かをするのではなく繋ぎ役であるが、あまりそのような要望がない。隣家の木が伸びてきているなど、身近な困り事について何かあれば手助けはしている。 | | 環境厚生 | | | |
| 15 | 通院の際の交通手段に困ったという声があった。調べてみると社協の福祉タクシー等の手段はあるようだ。しかし、問い合わせないとわからない。必要な情報がタイムリーに届けばと思う。 | ガソリン代を負担すれば、病院等へ送ってくれる制度「かめおかアッシー」がある。 | 環境厚生 | | | |
| 16 | 若い世代が折に触れて地域に帰ってくるような楽しみがあればと思う。例えば、集落毎の祭りや行事も行き来できるようになればよいし、実施するための補助金等も考えてほしい。 | | 総務文教 | | | |
| 17 | 先程、議員から小中一貫校が出来たので、川東地域以外の他地域から川東学園に子どもを呼び込めないかという質問があった。それについては、一つの目標ではあったが実例はない。 | | 総務文教 | | | |
| 18 | 敬老会や伝統行事などをどのように住みよいまちづくりに生かしていくか。また、高齢者対策は、地域毎に考えてくださいという感じだろうが、大きなものは別として、地域の中で自分たちが責任を持ってやっていくことになるだろうと考えている。しかし、この指とまれ方式ではなかなかできない。千歳町の高齢者の中で、こういうことが望まれているということについて、優れたものから採択していただけるような制度があってもよいのではないか。 | 篠町は地区社協が中心になって、元気づくり体操をやっており、40、50人は来られている。自治会の2階は参加者でいっぱいになる。一度視察に行かれたらよいと思う。 | 環境厚生 | | | |
| 19 | 防犯灯の関係で、街路灯LED化のための市の補助金に制限があるため、数を絞って申請しなければならぬということで悩んでいる。省エネ対策としての街路灯整備ということもあるが、この地域は街路灯が命の灯になると思う。安全で住みやすいまちづくりのために必要な問題であるという視点から捉え直してほしい。高齢者や通学する子ども達の交通事故防止対策として、必要なことである。 | 知事が、安全面については予算が無いから対応しないということはないと言っていたが、一町1件とかではなく、本当に必要なことをなぜできないのかと思う。色々な課題はあると思うが、地域が優先順位を決めて、自由に使える一括交付金ということを考えたらよいのでは。 | 総務文教 産業建設 | | | |
| 20 | 各地域の自主性に任せて使える交付金について、甲賀市を視察した。確かに、事務能力の問題もあり、一律に言うことは難しいが、高齢者対策のための交付金とか、目的を絞った形でしてもらえたら、地域で活用しやすいと思う。裁量を認めてやらせていただけるなど、そういう形の交付金はありがたい。 | 公募型で採用してもらって、それに対する交付金を出してもらおうような形については、あちこちから声もいただいているので、こういう機会にいただいた意見として議会に持ち帰り、市に提言していきたい。知恵を出し合ってまちづくりをしていくという提案をいただいたと思う。 | 総務文教 | | | |